

 評価のポイント

CL-新人. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

[12-新人] さまざまな症状を呈する小児への看護 脳・神経症状（基礎編）

1. 以下の事例を AVPU スケールで評価すると、どのレベルになるでしょうか。理由を含めて考えてください。
救急外来待合室ソファで母の膝の上に、うつ伏せになっている 2 歳女児。看護師が近づき「こんにちは、お名前教えてください」と声をかけると、看護師と視線が合った。しかし、返答は何もなく、泣きながら母の膝に顔をうずめた。

AVPU スケール：A

看護師を認識することができる。女児自身の安全の対象である母に安寧を求めていることから Alert 意識清明と判断できる。

2. 以下の事例を AVPU、GCS、JCS の 3 つのスケールで評価すると、どのレベルになるでしょうか。理由を含めて考えてください。

発熱 5 日目 8 か月男児。精査加療目的で入院となった。男児は母に抱っこされて目を閉じてぐったりとしている様子であった。看護師が大きな声で呼びかけをしても目を開けなかった。意図的に痛み刺激を加えたところ、嫌がって手足を動かし(払いのけるほどではない)、「うー」と小さな声で怒っている様子が見られた。

GCS スケール：E2 V2 M4

- E2 声かけでは開眼せず、痛み刺激によって開眼認めるため
- V2 痛みに対してうめき声を上げている（叫ぶほどではない）
- M4 痛みにて手足を動かす動作があるため

JCS スケール：Ⅲ-200

- 痛み刺激で少し手足を動かす様子があるため
- (痛み以外の刺激には反応していないのでⅡには該当しない)

AVPU スケール：P

- 声では反応せず、痛み刺激に反応しているため